

仕様

型番	定格電圧	入力電流	消費電力
AH50244L・AH50246L	AC100V	0.37A	35.0W
AH50245L・AH50247L		0.31A	29.9W

- ・リモコンで消灯した場合、約1Wの電力を消費します。
 - ・照明器具を長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
- 技適番号：  R 201-180566

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご購入品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は
お客様相談室

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)


修理・アフターサービスのお問い合わせは
サービスセンター

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-015123
FAX  0570-025123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検 ★長年ご使用の照明器具の点検を！

	ご使用の際このような症状はありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や傷みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	➔	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。
--	---------------------	--	---	-------	--

安全に関するご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(内照温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
<p><保証について></p> <ol style="list-style-type: none"> 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 保証期間中でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 <ol style="list-style-type: none"> 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 中画、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 施工上の不備に起因する故障や不具合 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 保証書は日本国内においてのみ有効です。 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 		<p><アフターサービスについて></p> <ol style="list-style-type: none"> 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 <p>※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。</p>
<p>保証期間(お引き渡し日より)本体：1年間 LED電源/モジュール/LED電球：3年間</p> <p>お買上年月日</p> <p>お名前</p> <p>ご住所</p> <p>電話 ()</p>		<p>取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号</p>

コイズミ照明株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

保管用

型番

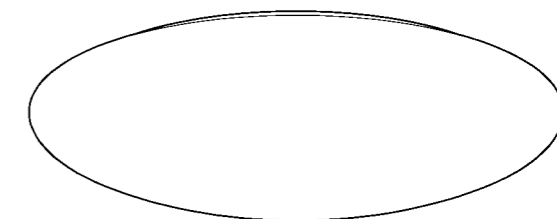
AH50244L・AH50245L
AH50246L・AH50247L

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
あかりをつける	6
リモコンで操作する	6
シーンを設定し記憶させる	9
オフタイマーを作動する/解除する	9
使用上のお知らせ	10
故障かな?と思ったら	11
仕様	裏表紙
お客様ご相談窓口のご案内	裏表紙
保証書	裏表紙

住宅用照明器具 (LEDシーリングライト)

●リモコン付き



お客様へ

器具を取り付けるとき、電気工事は工事店や電器店に依頼してください。資格を持たない方による電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくお読みのうえ正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

このたびは、コイズミ照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。




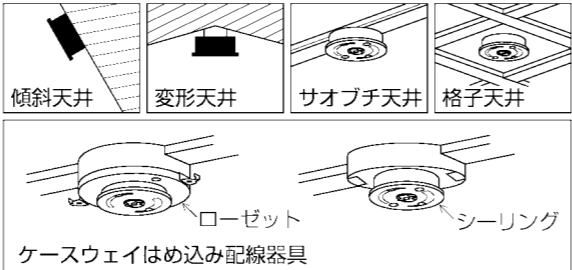

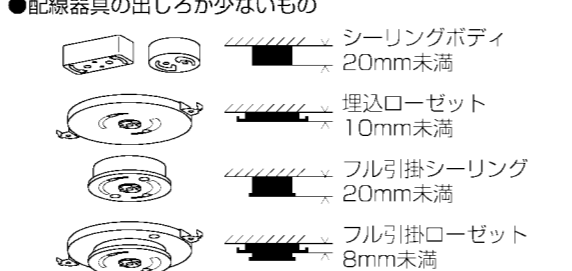



ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。







特に「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。

保証書へのお買い上げ日や販売店名の記入を確かめてください。

お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いがわからないときや、不具合が生じたときにお役に立ててください。

安全上のご注意

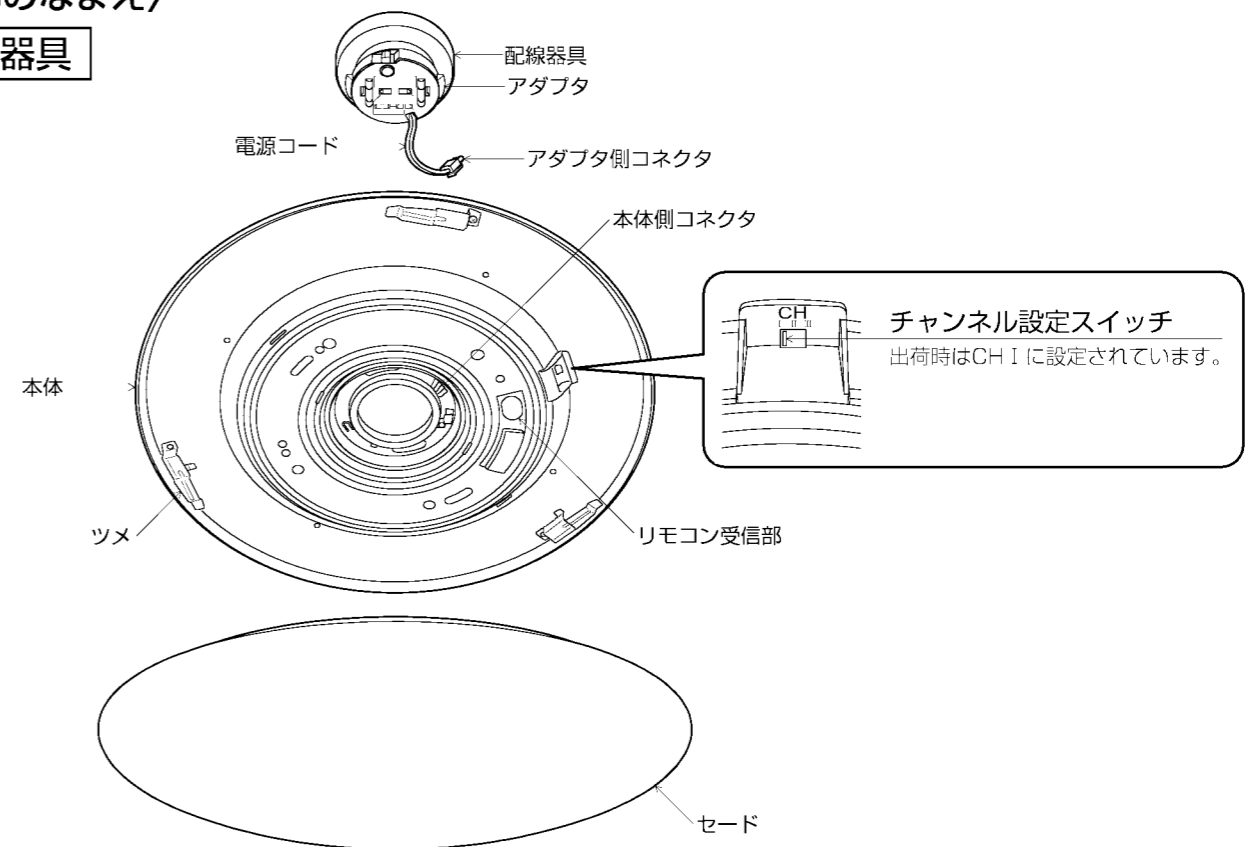
 警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守	器具の取り付けは、説明書に従って確実に行ってください。→器具の取り付けの不備は火災、感電や落下によるけがの原因になります。	下図のような場所や配線器具の場合には、取り付けできません。→火災、感電や落下によるけがの原因になります。配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店や電器店に依頼してください。	
 禁止	下図のような場所には取り付けしないでください。この器具は天井取り付け専用器具です。傾斜天井や壁面などには取り付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度が弱い場所、使用後のネジ穴には取り付けしないでください。→器具の落下によるけがの原因になります。		
 分解禁止	器具の改造や、部品の追加や変更をしないでください。→火災、感電や落下によるけがの原因になります。		
 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電や故障の原因になります。 器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。		
 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置すると火災や落下によるけがの原因になります。工事店や電器店に相談してください。		

 注意		この表示を無視して誤った取り扱いをするとけがや物的損害を発生させる可能性がある内容です。	
 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温であるため、触らないでください。→やけどの原因になります。	 禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
 水ぬれ禁止	この器具は防水ではありません。湿気が多い場所や屋外で使用しないでください。→火災や感電の原因になります。	 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災や感電の原因になります。
 禁止	周囲温度5~35℃、湿度45~85%の環境以外では使用しないでください。→火災や感電の原因になります。	照明器具の寿命は、使用条件や使用環境によって異なります。一般的な使用状態で8~10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店や電器店)による点検を実施していただき、不具合があれば適切な処置を行ってください。→放置すると、火災、感電や故障の原因になります。	

各部のなまえと付属品

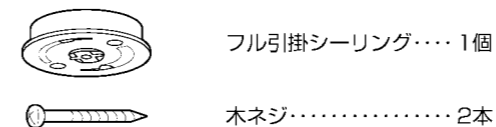
〈各部のなまえ〉

照明器具

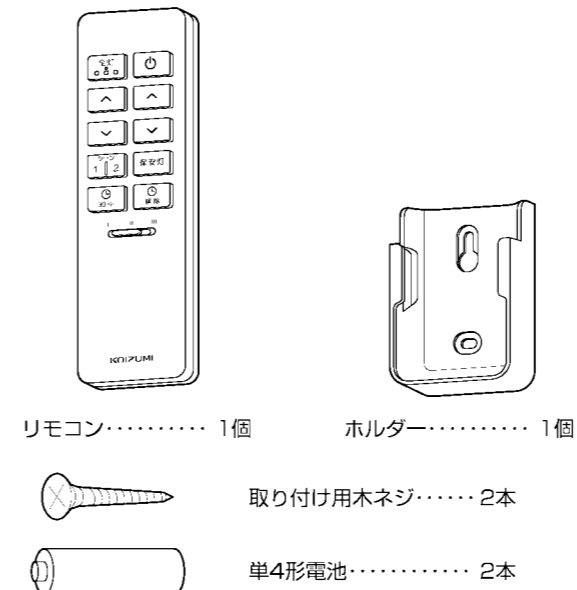


〈付属品〉

配線器具



リモコン



・照明制御を行う場合は別途スマートブリッジ (AE50264E別売) が必要となります。使用方法につきましては下記ウェブサイトをご参照ください。



WEBマニュアル

URL: <http://www.koizumi-lt.co.jp/smartadapter/>

※WEBマニュアルは、モバイルネットワーク通信を行なう場合があります。

説明書

施工取扱説明書(本書)・・・1冊
 ・本書に掲載している図やイラストはイメージです。実際の器具や部品とは異なる場合があります。
 ・本書に記載の内容は、予告なく変更する場合があります。

照明器具を取り付ける

取り付け前に確認すること



警告

配線器具の取り付けや交換は、工事店や電器店へ依頼してください。火災や感電の原因になります。

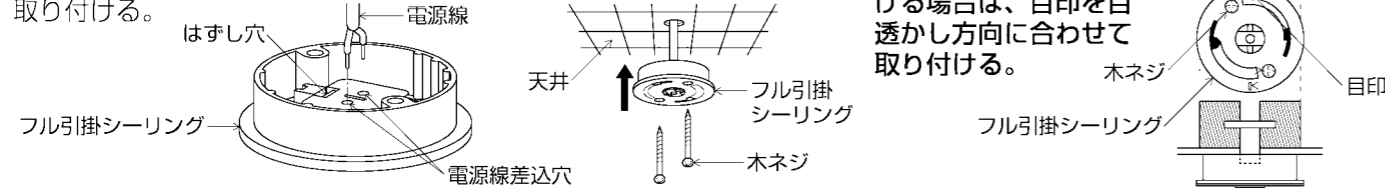
●天井に右図の配線器具が付いている場合

電気工事は不要です。取り付けられている配線器具が確実に固定されていることを確認する。



●配線器具が付いていない場合

付属のフル引掛シーリングを木ネジで天井に確実に取り付ける。



※目透かし天井に取り付ける場合は、目印を目透かし方向に合わせて取り付ける。

※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。
※別売スマートブリッジと連動させて使用する場合は、スマートブリッジとシーリングは同じ部屋に設置してください。

取り付け手順



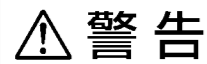
注意

本体などを取り付ける前に、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。(P6「壁スイッチで操作する(プルレス操作)」参照)

- ・この図は共通の部品図です。
- ・部品の有無や損傷を確認して、不備がある場合には取り付けしないでください。

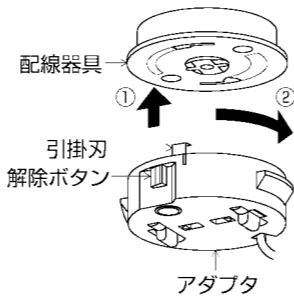
アダプタを配線器具に取り付ける

アダプタの引掛刃(2本)を配線器具にはめ込み、「カチッ」と音がするまで右に回す。



警告

解除ボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。アダプタの取り付けが不完全な場合、落下してけがの原因になります。



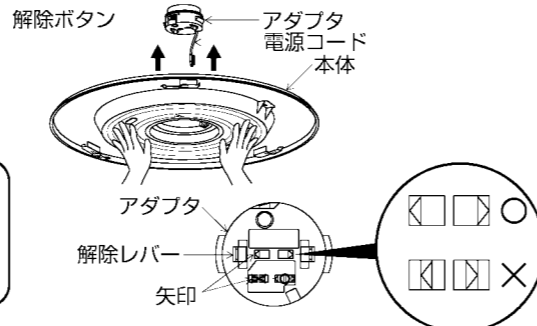
本体をアダプタに取り付ける

- 1) 本体の穴に電源コードを通す。
 - 2) アダプタに合わせて、本体を押し上げる。
- ・本体の中央付近を押して、確実に取り付けてください。



警告

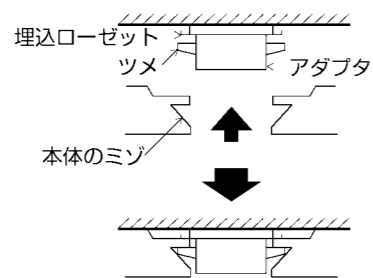
解除レバーの矢印の先端が、アダプタの矢印の先端に来るまで本体を押し上げてください。本体の取り付けが不完全な場合、本体が落下してけがの原因になります。



・本体を取り付けるときは、下記の「埋込ローゼットの場合」と「その他の配線器具の場合」をご覧ください。

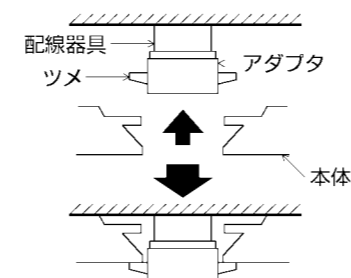
<埋込ローゼットの場合>

アダプタのツメに本体のミゾが引っ掛かるように、本体を1段階押し上げる。

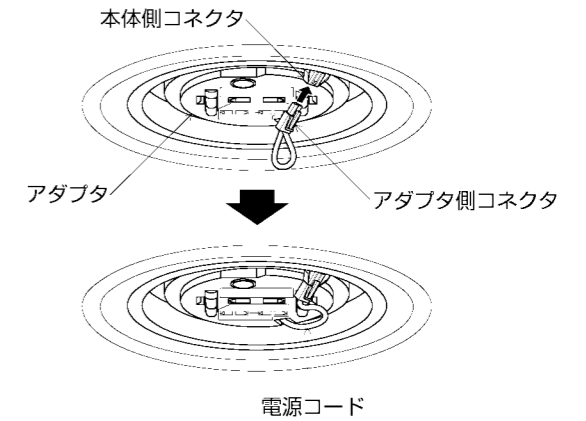


<その他の配線器具の場合>

アダプタのツメに本体が引っ掛かるように、本体を2段階押し上げる。本体ががたつく場合は、もう1度強く押し上げる。



本体側コネクタに、アダプタ側コネクタを接続する



本体に、セードを取り付ける

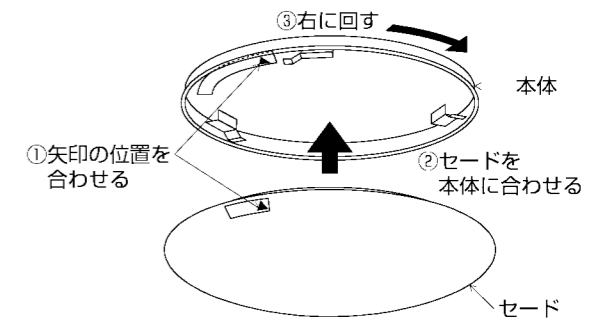
セード外側と本体の矢印が合う位置でセードを持ち上げ、「カチッ」と音がするまでセードを右に回す。



警告

本体にセードを確実に取り付けたことを確認してください。セードの取り付けが不完全な場合、セードが落下してけがの原因になります。

・無理な力は加えないでください。



照明器具が点灯することを確認する

(P6「壁スイッチで操作する(プルレス操作)」参照)

照明器具を取り外す

壁スイッチで電源を切る

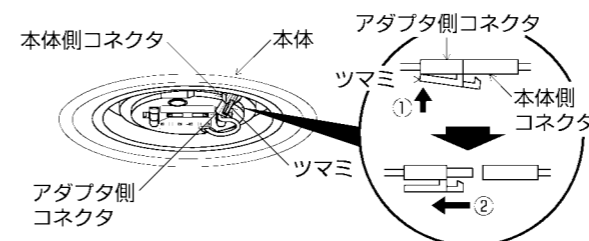
(P6「壁スイッチで操作する(プルレス操作)」参照)

セードを取り外す

「カチッ」と音がするまでセードを左に回して取り外す。

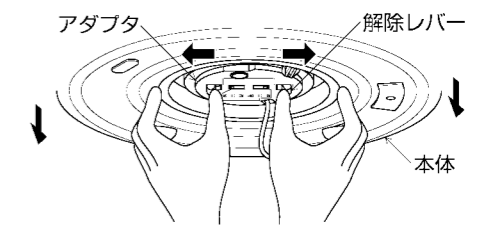
コネクタを取り外す

アダプタ側コネクタのつまみを押さえながら引き抜く。



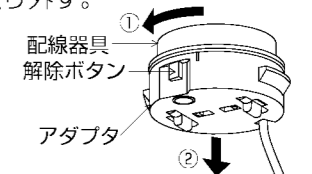
本体を取り外す

本体を支えながら、アダプタの解除レバーを内側にせばめたまま、本体を取り外す。



アダプタを取り外す

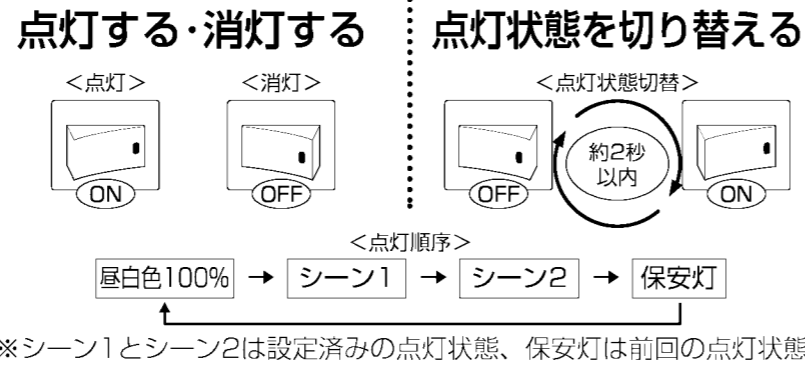
アダプタの解除ボタンを押しながらアダプタを左に回し、配線器具から取り外す。



あかりをつける

壁スイッチで操作する(プルレス操作)

- 壁スイッチをONにすると、点灯します。
- 壁スイッチをOFFにすると、消灯します。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約2秒以内にONにすると、点灯状態を切り替えることができます。(プルレス操作)
 - ・調光(調色)操作をした後、プルレス操作をすると、昼白色100%になります。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにすると、OFFにする前の状態で点灯します。
- 1つの壁スイッチで、2台以上の照明器具のプルレス操作は行わないでください。
- お出かけするときには壁スイッチをOFFにしてください。(壁スイッチがONの状態ですら一定時間の停電が発生した場合、停電前の点灯状態で復帰します。)
 - ・出荷時には、下記のように設定されています。
 - シーン1：昼白色100% シーン2：電球色100% 保安灯：80%

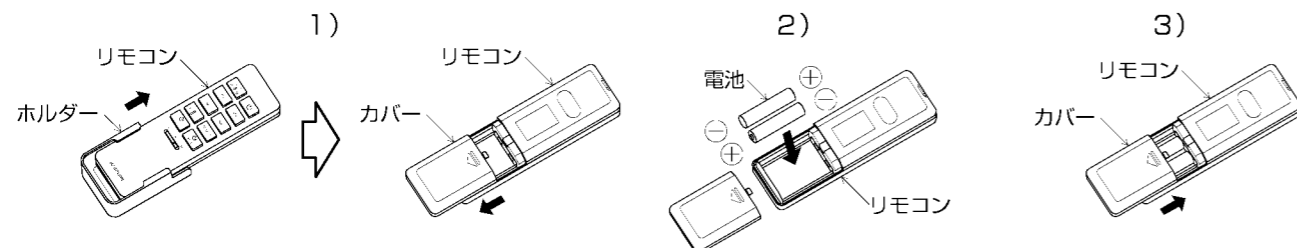


リモコンで操作する

リモコンの準備

リモコンに電池を入れる

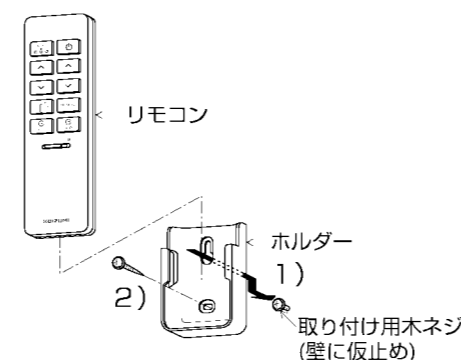
- 1) リモコンをホルダーから取り出し、電池用のカバーを外す。
- 2) 極性を表示に合わせながら電池を2本入れる。
- 3) 電池用のカバーを取り付けてください。



・付属のリモコン用電池についてお買い上げのときに付属されている電池は、モニター用のものです。そのため早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

リモコンを壁などに取り付ける

- 1) 付属のホルダー取り付け用木ネジのうち1本を、必ず壁に仮止めしてからホルダーを引っ掛ける。
- 2) 2本目の木ネジを壁に取り付けてから、仮止めた木ネジをねじ込み、固定する。
 - ・そのとき、強く締め込み過ぎないようにしてください。ホルダーを破損する場合があります。



リモコンで照明器具を操作できるか確認する

リモコンをホルダーから取り出し照明器具に向けて操作し、本体の作動を確認してください。(P8「照明器具とリモコンのチャンネルを設定する」参照)
本体が作動すると「ピッ」と確認音がします。

リモコンで操作する

リモコンの各部のなまえ

全灯順送りボタン
このボタンを押すたびに、光色を順番に切り替えることができます。
▶「昼白色100%」→「温白色100%」→「電球色100%」

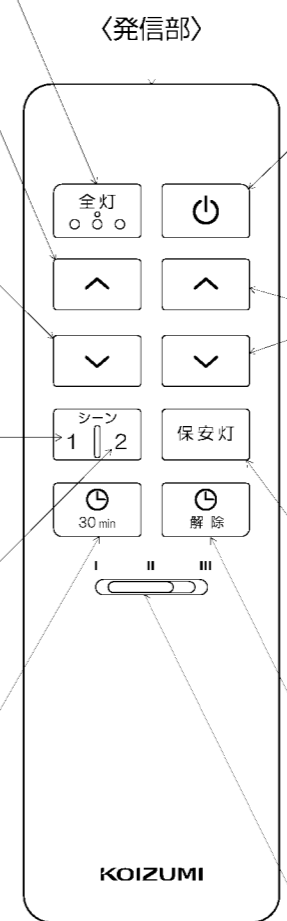
寒色(ブルー)ボタン
点灯時の光色を調節できます。光色は寒色へ切り替わります。
※リモコン操作での消灯時に押すと、主光源がON/OFFボタンを押す前の点灯状態になります。

暖色(オレンジ)ボタン
点灯時の光色を調節できます。光色は暖色へ切り替わります。
※リモコン操作での消灯時に押すと、主光源がON/OFFボタンを押す前の点灯状態になります。

シーン1ボタン
お好みの明るさと光色で点灯します。出荷時は昼白色100%に設定されています。(P9「シーンを設定し記憶させる」参照)

シーン2ボタン
お好みの明るさと光色で点灯します。出荷時は電球色100%に設定されています。(P9「シーンを設定し記憶させる」参照)

オフタイマーボタン(30min)
30分後に照明器具を消灯します。(P9「オフタイマーを作用する/解除する」参照)



ON/OFFボタン
照明器具の点灯/消灯を切り替えることができます。

調光(へ)ボタン
点灯時の明るさを調節できます。照明器具をお好みの明るさ(100%~約1%)に調節できます。(周囲温度約25℃のとき)
※調光状態は、室温や照明器具の状態によって多少変化します。
※リモコン操作での消灯時に押すと、主光源がON/OFFボタンを押す前の点灯状態になります。

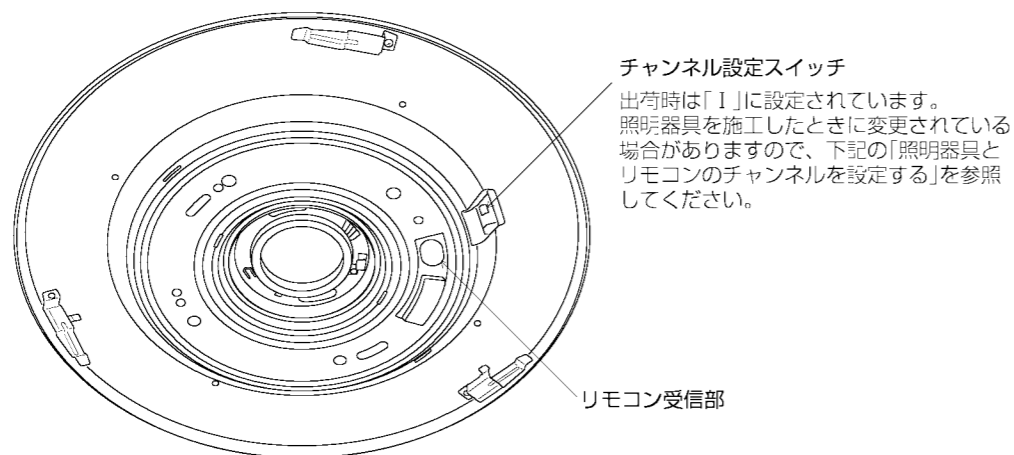
保安灯ボタン
保安灯の点灯と明るさを調節できます。(5段階調光)
※このボタンを押してから調光(へ)ボタンを押すと、保安灯の明るさを調節することができます。
※出荷時、保安灯の調光は80%に設定されています。

タイマー解除ボタン
オフタイマーを解除します。(P9「オフタイマーを作用する/解除する」参照)

チャンネルスイッチ
複数の照明を個別に操作するときに、照明器具側のチャンネルと合わせます。(P8「照明器具とリモコンのチャンネルを設定する」参照)

リモコンで操作する

リモコン受信部のチャンネル設定スイッチ



照明器具とリモコンのチャンネルを設定する

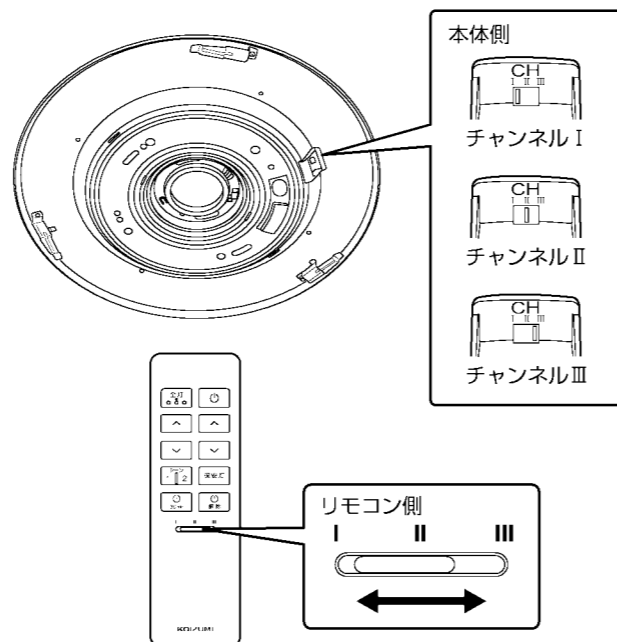
1台だけの照明器具を操作するとき

照明器具のチャンネルを確認してください。出荷時は「I」に設定されていますが、照明器具を施工したときに変更されている場合があります。リモコンのチャンネルを、照明器具のチャンネルに合わせてください。

複数の照明器具を操作するとき

複数の照明器具をリモコンで操作するときには、照明器具のリモコン受信部側のチャンネルをそれぞれ「I/II/III」(本体側)「I/II/III」(リモコン側)に揃えて設定してください。

リモコンのチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。



リモコンを使用するときの注意

- ・このリモコンは、コイズミ照明器具専用です。
- ・電池は半年を目安に、必ず2本とも同時に交換してください。
- ・充電式電池(Ni-Cdなど)を使用することはできません。
- ・長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
- ・リモコンで消灯すると、照明器具は待機電力を消費します。
- ・壁スイッチで電源を切った場合は、リモコンを操作しても照明器具は作動しません。
- ・他社の照明器具が動作する場合があります。その際は、照明器具とリモコンのチャンネルを切り替えてください。
- ・部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコンが作動しにくい場合があります。

- ・器具によっては、反応が遅い場合があります。
- ・ボタンを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- ・リモコンを落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
- ・温度が高くなるものの近くでは、リモコンを使用しないでください。
- ・リモコンの発信部が汚れると、照明器具が動作しにくくなります。乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- ・リモコンの周囲にしゃべり物がある場合、照明器具が動作しない場合があります。

お好みの明るさと光色の組み合わせを2つ記憶させることができます。(シーン1/シーン2)

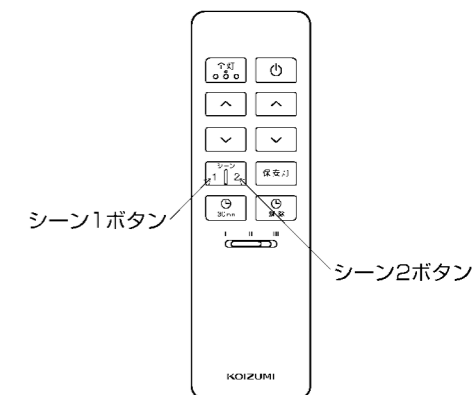
- ・出荷時の調光は、下記のように設定されています。
シーン1：昼光色100%
シーン2：電球色100%

シーンを設定する

リモコンの「調光(へ)」ボタン(明るさ)、「寒色(ブルー)」ボタンと「暖色(オレンジ)」ボタン(光色)を使い、照明器具をお好みの点灯状態に調節します。

シーンを記憶させる

リモコンの「シーン1」ボタンか「シーン2」ボタンを長押しします。照明器具から「ピーピ」という確認音が聞こえたら、そのシーンが記憶されます。



シーンの使いかた

リモコンの「シーン1」ボタンか「シーン2」ボタンを押すと、照明器具が記憶している点灯状態に切り替わります。

- ・消灯中は、シーンを設定することができません。
- ・リモコンを操作すると、照明器具から確認音がします。
- ・シーンを記憶した後で、照明器具のチャンネルを切り替えると(P8「照明器具とリモコンのチャンネルを設定する」参照)、照明器具のシーン設定はリセットされます。もう一度、シーンを設定してください。

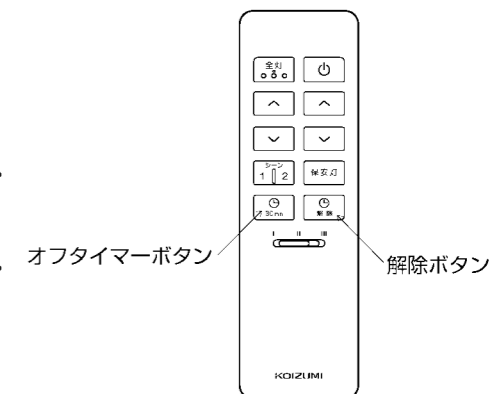
オフタイマーを作動させると、照明器具が30分後に消灯します。

タイマーを作動させる

壁スイッチをONにして照明器具を点灯してください。

リモコンの「オフタイマー(30min)」ボタンを押してください。照明器具から「ピピ」という確認音がします。

- ・照明器具が消灯しているときには、タイマーは動作しません。



タイマー時間を更新する

照明器具が点灯しているときに、リモコンの「オフタイマー(30min)」ボタンを押してください。照明器具から「ピーピー」という確認音が聞こえ、タイマー時間を新たに30分追加することができます。

- ・照明器具が消灯しているときには、タイマー時間を更新することはできません。

タイマーを解除する

照明器具が点灯しているときには、下記の4つの方法でタイマーを解除できます。

- ・リモコンの「タイマー解除」ボタンを押してください。タイマーは解除され、照明器具から「ピーピー」という確認音がします。
- ・リモコンの「オフタイマー(30min)」以外のボタンを押してください。タイマーは解除され、照明器具から「ピーピー」という確認音がします。照明器具は押したボタンに応じた状態となります。

- ・壁スイッチをOFFにし、約2秒以内にONにしてください。タイマーは解除され、照明器具から「ピ」という確認音がします。照明器具は、順送りされた状態になります。
- ・壁スイッチを約3秒以上OFFにしてください。タイマーは解除され、照明器具は消灯します。

使用上のお知らせ

使用上のご注意

- ・ご使用環境によってスマートブリッジとシーリングが繋がらない場合があります。スマートブリッジとシーリングは同じ部屋に設置してご使用ください。
- ・照明器具の近くでリモコンを操作すると、誤動作をすることがあります。照明器具とリモコン(コントローラ)を離してご使用ください。
- ・照明器具の近くでは、音響製品に雑音が入る場合があります。照明器具と音響製品を離してご使用ください。
- ・点灯や消灯した後では照明器具の部品などが熱で伸縮することによって、若干のきしみ音が発生することがあります。
- ・ライトコントローラなどの調光器と組み合わせて使用するときは、必ず当社指定のライトコントローラや調光器(別売)を使用してください。
- ・ちらつきや誤作動の原因になります。
- ・壁スイッチがONの状態ですら一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。
- ・停電などでプルレス操作がはたらき、明るさが切り替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどで、お好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- ・電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- ・壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホテルスイッチ以外のスイッチを使用してください。
- ・パイロットスイッチ(電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチ)を使用される場合は、表示灯がわずかにちらついたり、リモコンでの消灯時に微点灯することがありますが、異常ではありません。
- ・リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。器具の向きを変えてリモコン操作してください。

LEDユニットについて

- ・LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- ・LEDだけを交換することはできません。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDにはばらつきがあるため、同じ型番でも発光色や明るさが異なる場合があります。
- ・電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

照明器具のお手入れ

⚠ 注意 照明器具をお手入れするときは、安全のため必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃や点検をしてください。ダイニングやキッチンなどの汚れやすい場所では、年4回程度の清掃が目安となります。
- ・照明器具の汚れは、乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう水を含ませた布をよく絞ってから拭き取ってください。照明器具の変質や故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

●動作に異常があると思われる場合は、下記の点検を行ってください。

下記の処置を行った後にまだ異常がある場合は、必ず電源を切ってください。そして工事店、電気店やサービスセンターにご相談してください。

現象		
壁スイッチで照明器具を操作できない、または点灯しない (P6「壁スイッチで操作する(プルレス操作)」参照)	プルレス操作が確実にできていない	電源のON/OFF状態がわからないタイプの壁スイッチをご使用の場合は、操作を確実に行ってください。 2秒以内にOFFからONにしてください。
	プルレス機能が無効になっている	照明器具とリモコンのチャンネルを「CH III (Ⅲ)」に設定してください。 リモコンの「ON/OFF」ボタンを押しながら、3秒以内に「全灯順送り」ボタンを3回押し、プルレス機能を有効にしてください。
リモコンで照明器具を操作できない、または点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにしてください。
	リモコンの電池の極性(+と-)を間違えている	電池を正しい極性に入れなおしてください。(P6「リモコンの準備」参照)
	リモコンの電池が切れている	電池を交換してください。(P6「リモコンの準備」参照)
勝手に点灯状態が切り替わる	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない	照明器具とリモコンのチャンネルを合わせてください。 (P8「照明器具とリモコンのチャンネルを設定する」参照)
	店頭でのデモンストレーション用の動作モードになっている	照明器具とリモコンのチャンネルを「CH II (Ⅱ)」に設定してください。 リモコンの「ON/OFF」ボタンを押しながら、3秒以内に「保安灯」ボタンを3回押ししてください。デモンストレーション用の動作モードを解除できます。
リモコンで照明器具を操作したときに確認音がしない	確認音が消音モードになっている	照明器具とリモコンのチャンネルを「CH II (Ⅱ)」に設定してください。 リモコンの「ON/OFF」ボタンを押しながら、3秒以内に「シーン1」ボタンを3回押ししてください。消音モードを解除できます。
リモコンで消灯したのに、照明器具が点灯している	リモコンで消灯してから、壁スイッチをOFFからONにした	電源が再度入ると、消灯する前の状態で点灯します。 お出かけするときには壁スイッチをOFFにしてください。
	消灯中に、停電が起こった可能性がある	
スマートフォンやスピーカーで消灯したのに、照明器具が点灯している (スマートブリッジをお使いの場合)	スマートフォンやスピーカーに、問題が発生している可能性がある	壁スイッチかリモコンで消灯してください。 スマートフォン、スピーカーやWi-fi環境に問題がないかを、調べてください。
	屋内のWi-fi環境に問題が発生している可能性がある	
照明器具とスマートブリッジが接続できない	照明器具とスマートブリッジがペアリングできていない可能性があります。	P3のQRコードまたはURLよりWEBマニュアルをご覧の上設定を行ってください。